

Flexible High Performance
24-bit USB Audio Interface



ユーザーガイド



1. イントロダクション

MAYA22 USB は非常にスタイリッシュな USB オーディオインターフェースで、プロフェッショナルな 24 ビットオーディオ品質を備えた、どこにでも持ち運べるバスパワーUSB デバイスです。

2 つの RCA アナログ入出力と、+48V ファンタム電源対応の XLR マイクプリアンプ入力、ギター用の Hi-Z 楽器入力、高品質のヘッドフォン出力、TRS ライン出力を備えています。

マイクとギターの信号を同時に録音し、コンピューターでリアルタイムに信号を処理し、ヘッドフォンまたはスタジオモニターを介してミックスを直接聴くことができます。これらの機能はすべて、WDM、ASIO 2.0、CoreAudio 対応の高品質な低遅延ドライバーで提供されます。

1.1 各部の機能



1. USB 接続ポート (コンピューター接続用)
2. 1/4" TRS バランス ライン出力
3. XLR および TRS マイク入力
4. 入力表示 LED
5. +48V ファンタム電源スイッチ
6. 1/4" Hi-Z 楽器入力
7. RCA ライン入力
8. 1/4" ステレオヘッドフォン出力

2. インストール

2.1 推奨システム

最低動作環境 Windows

- Intel Pentium III 600MHz CPU または AMD CPU 同等品
- Windows XP 以上 (32 および 64-bit) OS
- 1 つ以上の空き USB ポート
- 2GB 以上の RAM
- 高品位なオーディオソフトウェア、ASIO サポート推奨

最低動作環境 Mac

- Intel CPU
- 1 つ以上の空き USB ポート
- 2GB 以上の RAM
- Mac OS X 10.4 以降

2.2 ハードウェアのインストール

MAYA22 USB を、コンピューターの使用可能な USB ポートに接続するだけです。MAYA22 USB は USB バスパワーで駆動するため、個別の電源は必要ありません。付属のケーブルを使用してコンピューターに接続するだけで、ハードウェアをインストールできます。

2.3 ドライバーとソフトウェアのインストール

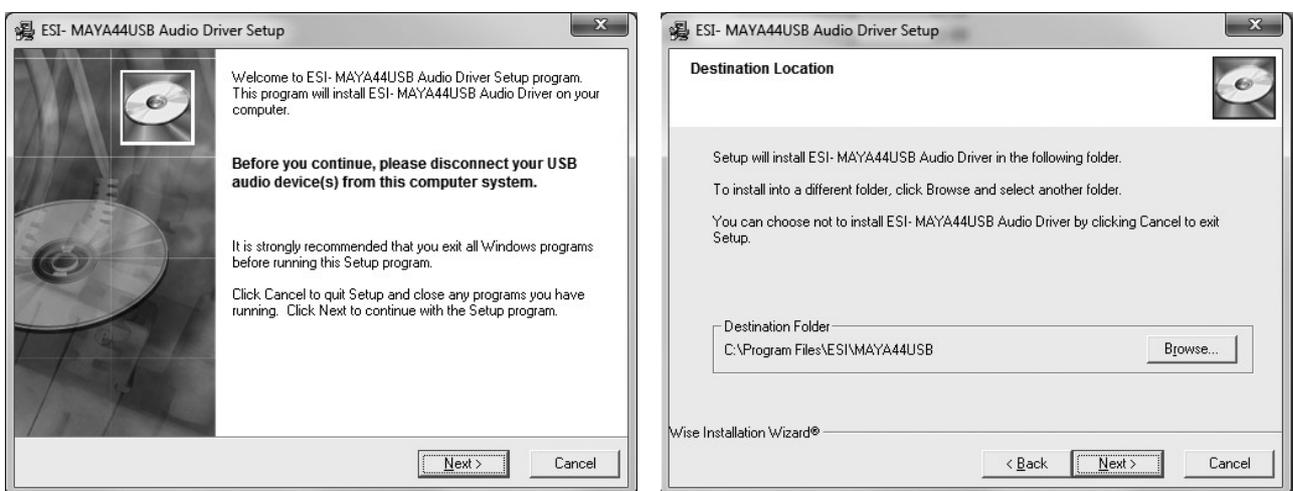
MAYA22 USB を USB で接続した後、OS はそれを新しいハードウェアデバイスとして自動的に検出します。Windows または Mac OS などの最新の OS は、通常、ハードウェアを自動で検出し、正しい USB オーディオドライバーを自動的にインストールしています。

MAYA22 USB は、特殊な ASIO ドライバーサポートを必要としない一般的なオーディオアプリケーションでそのまま使用できます。たとえば、Windows では、動画再生用のソフトウェアや、ASIO を必要としないシンプルな DJ ソフトなどです。Mac OS では、GarageBand なども含まれます。

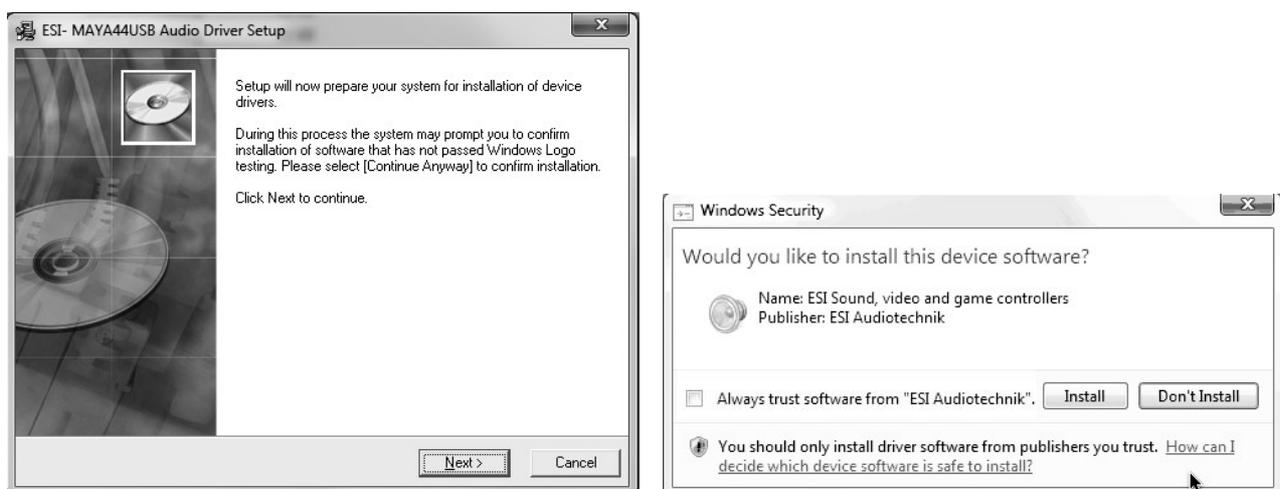
2.3.1 Windows でのドライバーのインストール

本体がすでに USB で接続されている場合は、インストーラを起動する前に取り外してください。次に、付属のドライバーCD の Windows フォルダから、または ESI Web サイトから最新ドライバーをダウンロードして setup.exe を起動します。

インストールを開始すると、Windows のセキュリティメッセージが表示される場合があります。必ずインストールを許可してください。下の左図に示すダイアログが表示されるので、Next >をクリックします。ここで、インストール先を設定できます。



下の左の図のように、インストール開始の確認が表示されます。インストールのプロセス中に、インストールするための確認を求める Windows セキュリティダイアログボックスが 1 回または数回表示される場合があります。Install で続行します。



左下に表示される次のダイアログで本体を USB 接続するよう求められます。MAYA22 USB を接続して、ドライバーのインストールを数秒待ちます。



最後に、ESI MAYA22 USB Audio Driver Setup ダイアログで Next をクリックすると、インストールが完了します。タスクバーの通知領域に、ESI のアイコンが追加されているか確認してください。再起動が必要な場合があります。



これで、ドライバーのインストールは正常に完了しました。

2.3.2 Mac OS でのドライバーのインストール

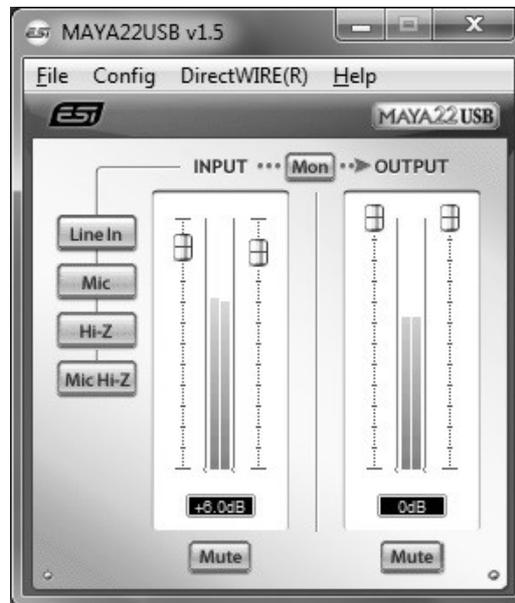
MAYA22 USB はクラス・コンプライアントの USB オーディオデバイスのため、ドライバーをインストールする必要はありません。

より簡単に使用するため、付属の CD（Mac OS X フォルダー）からインストールするか、Web サイトからダウンロードできるコントロールパネルアプリケーションを提供しています。インストールするには、.dmg ファイルを開き、含まれている.pkg パッケージファイルをダブルクリックしてインストーラーを起動します。画面の指示に従ってインストールしてください。

MAYA22 USB の基本的なオプション設定は、Mac OS の Audio MIDI 設定でも変更できます。

3. コントロールパネル (Windows)

コントロールパネルを開くには、タスク通知領域の ESI アイコンをダブルクリックします。次のダイアログが表示されます。



INPUT セクション: デバイスからの入力信号のモニタリングボリュームを操作します。フェーダーのペアは、マウスで同時または個別に操作できます。ミュートボタンで入力をミュートします。赤いミュートボタンは、ミュート機能が有効になっていることを示します。無効にすると、ボタンは灰色になります。

OUTPUT セクション: ソフトウェアからの出力信号の音量を操作します。フェーダーのペアは、マウスで同時または個別に操作できます。ミュートボタンで出力をミュートします。赤いミュートボタンは、ミュート機能が有効になっていることを示します。無効にすると、ボタンは灰色になります。

3.1 入力の選択

左側のボタンを使用して、ライン入力 (Line In)、マイク入力 (Mic)、楽器入力 (Hi-Z)、またはマイクと楽器信号の同時録音 (Mic Hi-Z) を選択できます。Mic Hi-Z を選択すると、マイク入力信号は左の入力チャンネル 1 に、楽器信号は右の入力チャンネル 2 に録音されます。

3.2 入力のモニタリング

Mon ボタン (INPUT と OUTPUT の間) を使用すると、リアルタイムの入力モニタリングを有効にできます。有効にすると、すべての入力信号が出力から聞こえます。コントロールパネルのフェーダーで、入力モニターレベル、入力レベル、出力レベルを制御できます。

3.3 レイテンシーの設定

Config > Latency から、MAYA22 USB のドライバーのレイテンシーを変更できます。一般的には、レイテンシーが短い方が有利です。最適なレイテンシー設定は、システムのパフォーマンスに依存します。DAW の場合、4～8 ミリ秒のレイテンシーバッファサイズが標準です。オーディオアプリケーションを起動する前に、これらの設定を変更してください。

3.3 DirectWIRE ※Windows のみ

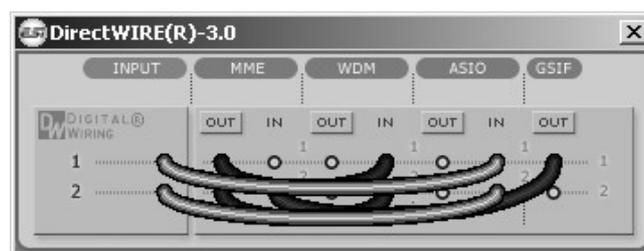
DirectWIRE とは？

DirectWIRE は、ESI によって開発されたドライバーテクノロジーであり、ESI 専用に開発された EWDM オーディオ MIDI ドライバーを使用して、アプリケーション内でオーディオストリームを内部的にルーティングできます。Direct WIRE ルーターを使用すると、アプリケーションは、外部配線なしで、または同時に実行しているときにデータを失うことなく、他のアプリケーションのオーディオ出力から録音できます。

MP3 や、ライブ配信、オンデマンドコンテンツなどから DirectWIRE を介してデータを転送することにより、オーディオストリームをリアルタイムで簡単にリップリングすることもできます。

DirectWIRE パネル

MAYA22 USB コントロールパネルの[DirectWIRE]をクリックします。次のような DirectWIRE ダイアログが表示されます。



行の番号は、入力ポートまたは出力ポートを表します。列は、各ドライバーのインとアウト（オンとオフ）を表します。マウスでドラッグしてバーチャルケーブルをポイントからポイントにパッチします。

INPUT: ハードウェア入力から信号をルーティングします。

MME: 一般的なアプリケーションの入出力

WDM: Multi-MME アプリケーションの入出力

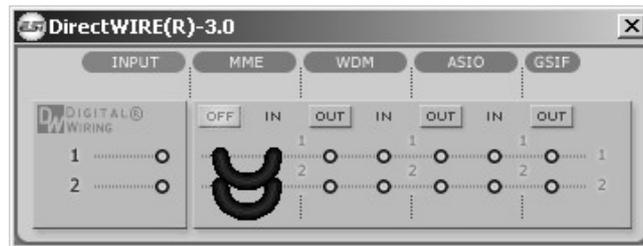
ASIO: ASIO アプリケーションの入出力

GSIF: GigaStudio の入出力

一部のアプリケーションは複数のドライバーモードをサポートしていることに注意してください。

DirectWIRE 使用例

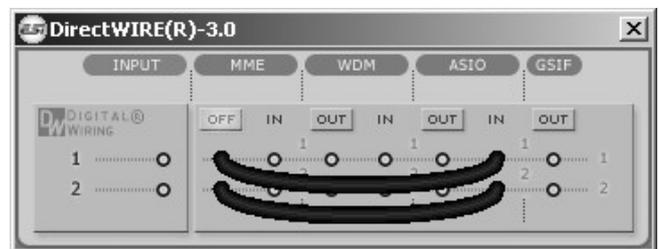
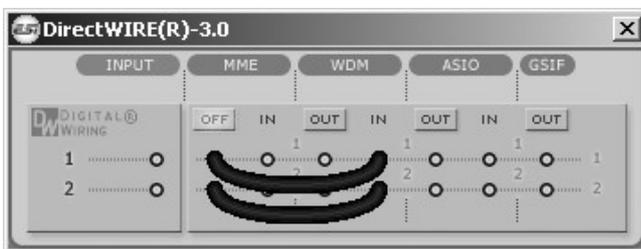
例 1. WinAmp (MME)から WaveLab (MME)へ録音する場合



WinAmp で再生されたものを録音したいが、音を聞きたくない場合は、MME セクションの OUT ボタンをクリックして、OFF に変更する必要があります。

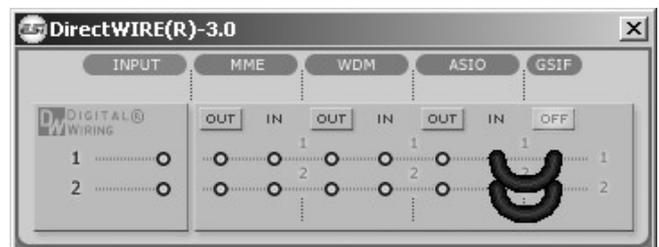
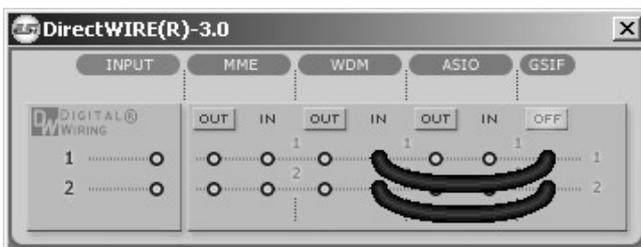
例 2. WinAmp(MME)から SONAR (WDM)

例 3. WinAmp(MME)から Cubase(ASIO)



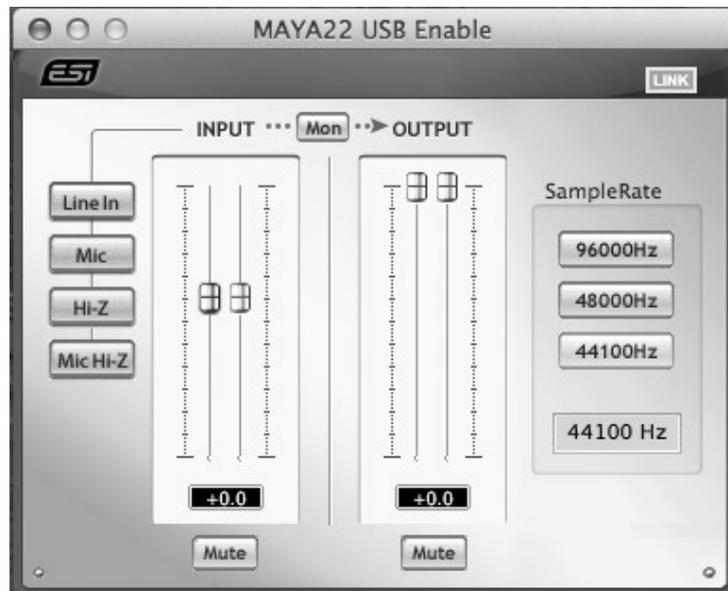
例 4. GigaStudio(GSIF)から SONAR(WDM)

例 5. GigaStudio(GSIF)から Cubase(ASIO)



4. コントロールパネル (Mac)

インストール後、パネルはアプリケーションフォルダにあります。Finder でアプリケーション > MAYA22 USB パネルから起動できます。次のダイアログが表示されます。



INPUT セクション: デバイスからの入力信号のモニタリングボリュームを操作します。フェーダーのペアは、マウスで同時または個別に操作できます。ミュートボタンで入力をミュートします。赤いミュートボタンは、ミュート機能が有効になっていることを示します。無効にすると、ボタンは灰色になります。

OUTPUT セクション: ソフトウェアからの出力信号の音量を操作します。フェーダーのペアは、マウスで同時または個別に操作できます。ミュートボタンで出力をミュートします。赤いミュートボタンは、ミュート機能が有効になっていることを示します。無効にすると、ボタンは灰色になります。

4.1 入力の選択

左側のボタンを使用して、ライン入力 (Line In)、マイク入力 (Mic)、楽器入力 (Hi-Z)、またはマイクと楽器信号の同時録音 (Mic Hi.Z) を選択できます。Mic Hi-Z を選択すると、マイク入力信号は左の入力チャンネル 1 に、楽器信号は右の入力チャンネル 2 に録音されます。

4.2 インプットモニタリング

Mon ボタン (INPUT と OUTPUT の間) を使用すると、リアルタイムの入力モニタリングを有効にできます。有効にすると、すべての入力信号が出力から聞こえます。コントロールパネルのフェーダーで、入力モニターレベル、入力レベル、出力レベルを制御できます。

5. 技術仕様

製品概要:

- 2 input / 2 output USB 2.0 24-bit Audio Interface
- line, guitar and microphone inputs
- simultaneous recording of microphone and guitar signals
- microphone preamp with +48V phantom power support
- line and headphone outputs
- ESI 7012L controller chip
- USB bus powered

オーディオ仕様:

24-bit / 96kHz

ADC Dynamic Range: 102dBA@48kHz, SNR = 102dBA@48kHz

DAC Dynamic Range: 108dBA@48kHz, SNR = 108dBA@48kHz

互換性:

- supports Windows XP, Windows Vista, Windows 7 and Windows 8 with ASIO 2.0, MME, WDM and DirectSound incl. DirectWIRE support and realtime level meters in MAYA22 USB for Windows control panel software
- supports Mac OS X (10.4 and above) via the native CoreAudio USB audio driver from Apple (no driver install required, MAYA22 USB for Mac control panel available)

お問い合わせの窓口

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。

なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigentへのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■ Dirigent へのご登録方法：

Dirigent サポートページにアクセスし、ESI オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■ Dirigent カスタマーサポート：

電話でお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

- 電話番号：**03-6264-7818** 受付時間：月曜日～金曜日 10:30～17:00（弊社特別休業日を除く）
- Dirigent サポートサイト：<https://dirigent.jp/support/>

ESI 国内総輸入代理店 株式会社銀座十字屋ディリгент事業部